

交流のひろば

情報を寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

だんべえ踊つて 広がる交流の輪

文京町三丁目・大島松己 67
広報まえばしでだんべえ踊り初心者を対象とした練習会があることを知り、基礎を身に付けるいい機会だと思い、参加しました。これまで、周りの人々踊りを見て踊つていたので不安もあったのですが、せっかく前



橋まつりに参加するので、練習会に足を運んでみることに。

分かりやすい指導方法で多くの仲間と楽しく練習ができるました。特に、難しいステップから練習し、さらにそこを反復する方法は理解しやすかったです。練習最終日は、参加者が非常に多く、市民体育館の大ホール全面で踊りました。踊っていると自分の年齢を忘れ、夢中になってしまいます。今年は練習の結果、前橋まつりで上手に踊ることができました。そして、だんべえ踊りを通じて前橋の発展と地域の活性化が図られ、多くの人たちとの交流の輪が広がることをうれしく思います。



まちのニュース

天川大島町住宅

菊を通して 人との交流

小野寺定夫同町老人会長はみんなで花を育てることで、交流も深まります。展示が終わった鉢の根から次の苗を育てますが、来年も美しい花を咲かせたいですね」と話していました。

多くの人に支えられ50年



日本陸連「秩父宮章」を受章

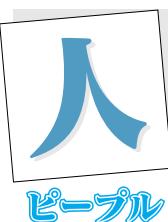
赤石 明男さん(64)
幸塚町

先月二十七日、日本陸上競技連盟やその加盟団体に功績のあつた人に贈られる「秩父宮章」を受章。昭和四十七年から現在まで三十年の長きにわたり、群馬陸上競技協会理事を務め、昭和五十八年のあかぎ国体、平成二年。節目の年に陸上界で最高の

栄誉を賜り感激しています。これも周囲の皆さんに恵まれたおかげ。感謝しているんです」高校でも陸上部に入つて、ハーフマラソンが加わります。若い人は、陸上競技発展のために一層頑張つてもらいたいですね。

「これからは競技運営のコンピューター化がさらに進んでいくことでしょう。前橋シティマラソンも、来年度からはハーフマラソンが加わります。若い人は、陸上競技発展のために一層頑張つてもらいたいですね。関東大会などで何度も上位入賞を果たした。その後は審判や役員として活躍するとともに、マスターで競技を続けている。

「定年の年に全国優勝を果たす。十一年の世界室内陸上競技選手権前橋大会など、競技役員として貢献したことが認められた。中学の時に担任の先生に勧められ、陸上競技を始めて五十年。節目の年に陸上界で最高の



ピープル

十一月三日、天川大島町住宅自治会館で、菊花展が開催されました。これは、毎年長寿会を中心に行つて行なっている行事。春に苗を配り、各家庭で丹精して育てた菊を展示します。今年は例年より花の付きが遅めだったにもかかわらず、色とりどりの菊がたくさん出品されました。参加者も楽しいおしゃべりに花を咲かせながら、秋の彩りを堪能したよ。

木川の河畔でトレーニング。二度目の優勝を目指しています」市陸上競技協会理事長も三十一年務めたが、今年三月、後進に道を譲つた。

「これからは競技運営のコンピューター化がさらに進んでいくことでしょう。前橋シティマラソンも、来年度からはハーフマラソンが加わります。若い人は、陸上競技発展のために一層頑張つてもらいたいですね。自治会副会長と民生委員も務めている。これからも忙しい日が続くだろうが、鍛え上げた体でますます活躍が期待される。